

やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌 名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	36 / 2015 / 13 (再編集版)
タイトル	青森市のハグロトンボ ～ 2014年の記録 ～
著 者 名	室谷洋司

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

青森市のハグロトンボ ～ 2014年の記録 ～

第10代 室谷 洋司

本誌30号(2011)から、青森市周辺のハグロトンボについて復活傾向の一資料として記してきた。2014年は、個体数が増え続けているという感覚からか、情報提供はあまりなかった。

油川 天田内川にかかる中道橋付近の住宅地そばの水路で7月7日が初見、徐々に増えて同22日には14、5頭。天田内川本流でも観察されるようになった。(五十嵐豊氏私信)



高田 ここは、筆者の定点観察地で、2011年以降、毎年1個体ずつ観察してきたが、今年は2個体を観察した(8月16日)。場所は林内に開けた草地で、近くに発生地があるものと考えられるが、その確認はできなかった。

友人のトンボ専門家・高橋克成氏は、さらに新生息地も記録しているが、今年の一連の記録は次のようである。

7月8日：新青森総合運動公園付近、野内の湿地内小水路、7月14日：宮田の溜池、安田の水天宮の池、8月18日：沖館川遊水池。

諏訪沢地区の水環境は、早くから確認され個体数も多かったが、9月18日に同地に行ったら、地区全体の田圃と水路が大規模な圃場整備事業で改変されていた。ハグロトンボの生息環境への影響は大きいものと思われる。

写真左(上、下) 青森市諏訪沢の圃場整備事業。水路の直線化、コンクリート化が進められている(2014年9月18日)